

## 編集後記

死者1万5,854人、行方不明者3,155人という自然災害で戦後最悪の東日本大震災から今月の11日で一年を迎える。台湾の皆様からは、震災直後の救援活動を皮切りに発電機、毛布、寝袋等の支援物資や世界最大となる200億円もの義捐金をいただき、この紙面を借りまして改めてお礼申し上げたい。先日、台北・高雄で支援への感謝の新聞広告や被災地の復興への歩み等知っていただくためのテレビ番組等の各種の復興追悼イベントが開催された。同様の催しは各国の大使館や領事館等でも行われたとのことであるが、とりわけ日本人に対する思いの深い台湾においては有意義なものとなり、これらの触れ合いを通じて日台相互の「絆」の深さが再認識され更に強固なものになったのではなかろうか。

復興への取り組みとして過去に例のない4度の補正予算でがれき処理費や被災者生活再建支援金、除染費用など約14兆円もの措置がなされた。しかしながら、いまだ執行率55%、瓦礫推計量2300万トンに対し処分率は6%にも満たない状況、今なお35万人が全都道府県に散って避難生活を送り、12万人が仮設住宅に暮らしているという。放射能への不安を払拭できないのはわかるが、総論賛成各論反対という自己中心的な主張が前面に出た地方自治体の対応、東京都で受け入れができるのになぜ他の自治体はできないのであろうか、首長のリーダーシップの発揮どころでは？今後、沿岸被災地集落の再構築や被災者の生活再建、漁業、農業並びに商工業の再建等課題が山積しているが、復興担当大臣があらたに設置され復興庁も立ち上げあげられたことであり一刻も早い復興を期待したいものである。

東日本大震災以降、夏の酷暑、タイの洪水、そして、この冬の世界各地での寒さと日本各地での異常降雪など地球的規模な異常気象が続き、また、震災後1年間で震度4以上の余震が2百数十回、M7級首都直下地震が今後4年以内に70%の確率で発生との予測、いったい地球は(日本)はどうなるのかと不安に思っているのは私だけであらうか。

とかく暗い話題が多いが、明るい話題といえば5月22日に開業予定で世界一の塔となる東京スカイツリー(634m)であらう。なんでも経済的効果は年間880億円！商業施設で働く正社員等1000人以上が採用される予定であり、周辺施設などでの3000人規模での雇用創出が期待されるとのこと。疲弊している経済の景気回復の一助となることを期待したい。

期しくも震災の翌年の完成となった東京スカイツリー、震災対策は万全とのことであるが、復興のシンボルとして人々に希望を与えて続けて「想定外でした」ということにならないことを願いたい。

(経理部次長 高橋 準市)